フレキシキュリティ日本語文献(1)

日本でフレキシキュリティがはじめて話題になった 2005 年から 2011 年までのフレキシキュリティ関連文献を収録している。オランダ・モデル、デンマーク・モデル、スウェーデンの積極的労働市場政策についての文献も収録した。もれている重要な文献もあると思われるので、教えていただきたい。移動的労働市場の研究文献も加えて、1 年後に追加のフレキシキュリティ日本語文献 (2) を掲載する予定でいる(2012.12.20)。

2005

アマーブル(2005) 『5つの資本主義』山田鋭夫ほか訳、藤原書店

2006

木原隆司他(2006) デンマーク及び EU の雇用政策とその評価, 樋口美雄他編著『転換期 の雇用・能力開発支援の経済政策』日本評論社

権丈英子(2006)パートタイム社会オランダ、『社会政策学会誌』第16号

野川忍他(2006)『ドイツにおける労働市場改革/その評価と展望』労働政策研究・研修機構 水島治郎(2006)オランダにおける新たな雇用・福祉国家モデル、『思想』No.983

2007

坂井澄雄(2007)フレキシキュリティ――デンマークの積極的労働市場政策、『ビジネス・レバー・トレンド』労働政策研究・研修機構、2007年4月号

2008

エイブラハムソン (2008) デンマークにおけるローカルガバナンスの変化,山本隆他編著 『ローカルガバナンスと現代行財政』ミネルヴァ書房

カットナー(2008) コペンハーゲン・コンセンサス,『論座』2008年5月号

嶋内健(2008)デンマークにおけるアクティベーション政策の現状と課題、『立命館産業社 会論集』第44巻第2号

藤川恵子(2008)日本版フレキシキュリティ構築への課題、『Work Review』Vol.3

2009

アグリエッタ他(2009)『金融資本主義を超えて』若森章孝・斉藤日出治訳、晃洋書房 大和田敢太(2009)「オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリティ理念と平等原則」, 『日本労働研究雑誌』第590号

小池直人(2009)岐路に立つ柔軟保障(フレキシキュリティ)――デンマーク的性格とその変容、『社会文化形成』第3号

近藤正基(2009)『現代ドイツ福祉国家の政治経済学』ミネルヴァ書房、第5章

- 大和田敢太(2009)オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリティ理念と平等原則, 『日本労働研究雑誌』No.590/September 2009
- 鈴木尊紘(2009)フランスにおけるフレキシキュリティ法制,『外国の立法』240,国立国会図書館調査及び立法調査局
- 馬場優(2009)オーストリアにおける労働市場の流動性と雇用の安定——オーストリア型フレキシキュリティの特徴——、『社会科学研究年報』第39号
- 松井裕次郎(2009)若年者の就業支援――EU,ドイツ,イギリスおよび日本の職業教育訓練を中心に――,『総合調査 青少年をめぐる諸問題』
- 宮本太郎(2009)『生活保障――排除しない社会へ』岩波書店
- 柳沢房子(2009)フレキシキュリティ――EU 社会政策の現在――,国会図書館調査及び立法考査局『レファレンス』2009.5
- 若森章孝(2009a)資産形成型成長体制の出現と新しい調整様式の創出,アグリエッタ他 (2009) 『金融資本主義を超えて』若森章孝・斉藤日出治訳,晃洋書房
- 若森章孝 (2009b)フレキシキュリティ論争とデンマーク・モデル,『経済論集』第 59 巻 第 1 号

2010

- 安孫子誠男(2010)「<労働―福祉ネクサス>論の問題圏」,安孫子他編著『労働』勁草書房 荒井壽夫(2010)「フランスの現下の雇用政策に関する覚え書き――フランス型のフレキシキ ュリティか」,『彦根論叢』(滋賀大学),第 382 号
- 厳成男(2010a)韓国の労働市場における柔軟性と安全性の変化に関する研究、『京都エラスムス計画—— JSPS大航海プログラム』研究成果報告書、第3章
- 厳成男 (2010b) 雇用に関する制度的調整の比較分析――フレキシキュリティによる社会単位の調整と日本の企業単位の調整――、『経済論叢』(京都大学)、第 184 巻第 2 号 厳成男(2010c)『中国の経済発展と制度変化』京都大学出版会
- 嶋内健(2010)デンマーク福祉国家の歴史的変遷とシティズンシップ――教貧法からアクティベーションまで、『立命館産業社会論集』第46巻第3号
- 鈴木優美(2010)『デンマークの光と影 福祉社会とネオリベラリズム』リベルタ出版
- 藤井将王(2010) 非正規雇用労働者の増加に伴う課題と政策、『香川大学経済政策研究』 第6号
- 星野郁(2010)ヨーロッパにおける労働市場の改革の展開と課題、田中素香編著『世界経済・金融危機とヨーロッパ』第8章、勁草書房
- 保住敏彦(2010)ドイツ社会国家の制度進化?――ハルツ改革の影響をめぐって――,進化経済学会 2010 年度大会
- 水島治郎(2010)雇用多様化と格差是正――オランダにおけるパートタイム労働の「正規化」 と女性就労,安孫子誠男・水島治郎編著『労働』勁草書房

- 若森章孝(2010a)「デンマーク型社会経済モデルと交渉・信頼による調整」,『ソーシャル・キャピタルと市民参加』関西大学経済・政治研究所『研究双書』第 150 冊
- 若森章孝(2010b)「フレキシキュリティとデンマーク・モデル」,安孫子他編著『労働』勁草 書房

2011

- 阿部彩(2011) 『弱者の居場所がない社会』 講談社
- 内山隆夫(2011)移行労働市場とフレキシキュリティ·アプローチ,Journal of Faculty of Economics,KGU,Vol.21,No.1
- 加藤壮一郎(2011)「デンマークのフレキシキュリティと知識経済の関係性――フレキシキュリティ概念とデンマーク・モデルの検討をとおして」,『経済科学論究』(埼玉大学)第8号
- 楠貞義(2011) 住宅バブルの崩壊とスペイン経済の現状,『現代スペインの経済社会』勁草 書房,第3章
- 権丈英子(2011)オランダにおけるワーク・ライフ・バランス――労働時間と就業場所の柔軟性が高い社会――,RIETI Discussion Paper Series,11-J-030
- 厳成男(2011)労働市場の柔軟性と安全性の変化」,『中国の経済発展と制度変化』京都大学学術出版会,2011年,第8章
- 小池直人(2011)岐路に立つ柔軟保障(フレキシキュリティ)――デンマーク的性格とその変容、名古屋大学社会文化形成研究会『社会文化形成』第3号
- 近藤康史(2011)ヨーロッパ福祉国家の現在とゆくえ,齋藤純一他編『社会保障と福祉国家のゆくえ』ナカニシヤ出版,2011 年
- 嶋内健(2011)デンマークの積極的雇用政策、『社会政策』第3巻第2号
- ジェトロ・コペンハーゲン事務所(2011)「デンマークの雇用政策」,『ユーロトレンド』2011.4
- 菅沼隆(2011a)デンマークの失業保険制度——失業金庫とフレキシキュリティ,『立教経済学研究』第64巻第3号
- 菅沼隆(2011b)デンマークの失業手当期間の短縮:フレキシキュリティの解体?,『週刊社会保障』2616号(2011年2月14日)
- 菅沼隆(2011c)デンマークの労使関係と労働市場、『社会政策』第3巻第2号
- 田中拓道(2011)脱商品化とシティズンシップ, 『思想』No.1043(2011.3)
- 遠山弘徳(2011)流動的なヨーロッパ労働市場の出現と労働市場制度改革、静岡大学『経済研究』第 15 巻第 4 号
- 中野聡(2011)EUのフレキシキュリティ政策,『社会政策』第3巻第2号
- 西岡晋(2011)「多様な資本主義」と政治・福祉・労働,宮本太郎編『働く』風行社
- 廣瀬真理子(2011)オランダの労働市場と雇用政策、『社会政策』第3巻第2号
- 宮本章史・諸富徹(2011)「社会的投資国家」の経済思想、『思想』No.1047 (2011.7)